

一般質問内容

質 問	答 弁
1、枚方ブランドを何故「健康医療都市」・「教育文化都市」に変えたのか？また「はなと音楽にあふれたひらかた」という文言が表から消えたのは何故か？	市民満足度が高い、健康・医療・教育の分野に、市民の夢と活力を育み、生活を豊かに彩る文化芸術を加え、ブランドとした。
2、中学校給食について、民間に任す事で経費の削減、また、実施時期を早める事もできるが、何故、市で共同調理場を建設するのか？	食育、学校運営の観点、市の財政状況、市民や児童生徒へのアンケート結果、中学生の昼食の視点などから総合的に判断した。
3、市駅周辺再整備について、現在の市民会館大ホールの耐震補強をするなら、建物が持つ所までは大ホールを使い、新しい総合文化施設は慌てて建設するのではなく、市駅周辺の再整備とマッチする一体的な建物となるよう、じっくり検討するべきではないか？	総合文化施設については、施設を活性化するため、民間のノウハウやアイデア、民間活力導入についても検討を行いながら、ホールのコンセプトや整備手法を明確にしていきたい。
4、上下水道局について、水道・下水道の統合から1年たって、効果はどうか？また昨年の東日本の大震災から、社会資本の耐震化に加え、整備後、対応年数の迫っている古いものを計画的に整備・更新する事が必要と言われているが、水道管路等の計画はどうなっているか？	目に見える効果としては、職員14名削減、財政面では1300万円の効果が見込まれる。 水道施設の古いものでは50年以上経過しているものもあり、今後計画的、効率的に更新、耐震化を進めて行く。
5、保護者が緊急に子供を養育出来ないとき、体制をキチンと出来ているか？	申込方法など、よりわかりやすくなるよう努めます。
6、保育所の待機児童が解消されていないが、今後どう取り組んでいくか？保育ママ、認定こども園、出来る事は全て行うべき。	認定こども園、保育ママについて、課題整理し、今後の保育需要を踏まえ、検討していく。
7、ひとり親支援で、非婚の場合も保育料、公営住宅の減免を行うべき。	ひとり親家庭の自立を支援する為に、今後、調査・研究を進める。
8、きらら等の複合施設の災害時責任者は施設内で決めるべき。	災害時はマニュアルに基づき、本庁の担当課が中心で対応していく
9、新市民病院では病院食も一般が食せるように出来たら市民の健康に大きく寄与出来る。	現在は看護の日イベントとして血圧や体脂肪の測定、栄養や看護についての相談などを行っている。